

Global Digital Transformation Partner

# 2020年3月期 第2四半期決算 補足説明資料



2019年10月31日

トランスコスモス株式会社

1. エグゼクティブサマリ
2. 連結損益計算書サマリ
3. セグメント別業績サマリ
4. 連結売上高の増減分析
5. 連結営業利益の増減分析
6. 単体サービス 営業利益の増減分析
7. セグメント別 四半期業績（2019年7-9月期）
8. 連結四半期業績の推移
9. 親会社四半期純利益の増減分析
10. 連結貸借対照表の概要
11. 連結キャッシュフロー計算書の概要
12. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点
13. 2Q 活動トピックス

# 1. エグゼクティブサマリ

## 成果

- 全セグメントが増収・増益を達成
- 売上高は前年同期比**+10.4%**の増収、成長率が加速
- 受注業務の採算性改善で売上総利益率は**+0.3ポイント**改善
- 販管費は売上・収益状況を踏まえた**コストコントロールを維持**
- 営業利益は前年同期比**+29億円、+185.6%**の大幅増益

## 課題

- 単体サービス・海外関係会社のさらなる収益性改善・向上に向けた取り組みを加速

## 2. 連結損益計算書サマリ

- 売上高：主に単体サービスの受注増加が牽引して増収
- 営業利益：主に単体サービスの収益性改善が牽引して増益
- 経常利益：営業利益の増加により増益
- 親会社四半期純利益：前年同期に計上した関係会社株式売却益（6,664百万円）の反動により減益

単位：百万円	2019年3月期 2Q累計		2020年3月期 2Q累計		増減	
		(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	137,689	100.0%	151,945	100.0%	14,255	10.4%
売上原価	114,894	83.4%	126,217	83.1%	11,323	9.9%
売上総利益	22,795	16.6%	25,727	16.9%	2,932	12.9%
販管費	21,195	15.4%	21,157	13.9%	-37	-0.2%
営業利益	1,600	1.2%	4,569	3.0%	2,969	185.6%
営業外損益	504	0.4%	-209	-0.1%	-714	-
経常利益	2,104	1.5%	4,359	2.9%	2,255	107.1%
特別損益	6,892	5.0%	1,467	1.0%	-5,425	-78.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,232	3.8%	3,351	2.2%	-1,881	-36.0%

### 3. セグメント別業績サマリ

- 単体サービス：増収・増益。主要サービスが受注好調、増収に加え受注業務の採算性改善や販管費率低下で収益性改善
- 国内関係会社：増収・増益。上場子会社の好調な業績、新規連結の影響などで売上・利益ともに増加
- 海外関係会社：増収・増益。中国（オフショア開発）・韓国子会社の好調な業績により売上・利益ともに増加

単位：百万円		2019年3月期 2Q累計		2020年3月期 2Q累計		増減	
		(構成比)		(構成比)		(増減額)	(増減率)
売上高	単体サービス	101,854	74.0%	111,372	73.3%	9,518	9.3%
	国内関係会社	10,098	7.3%	12,758	8.4%	2,660	26.3%
	海外関係会社	29,554	21.5%	32,518	21.4%	2,963	10.0%
	セグメント間取引消去	-3,818	-2.8%	-4,705	-3.1%	-887	23.2%
	<b>(合計)</b>	<b>137,689</b>	<b>100.0%</b>	<b>151,945</b>	<b>100.0%</b>	<b>14,255</b>	<b>10.4%</b>
セグメント 損益	単体サービス	1,248	78.0%	3,344	73.2%	2,095	167.9%
	(利益率)	1.2%		3.0%			
	国内関係会社	344	21.5%	873	19.1%	528	153.5%
	(利益率)	3.4%		6.8%			
	海外関係会社	9	0.6%	351	7.7%	342	-
(利益率)	0.0%		1.1%				
セグメント間取引消去	-2	-0.1%	0	0.0%	3	-	
<b>(合計)</b>	<b>1,600</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,569</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,969</b>	<b>185.6%</b>	

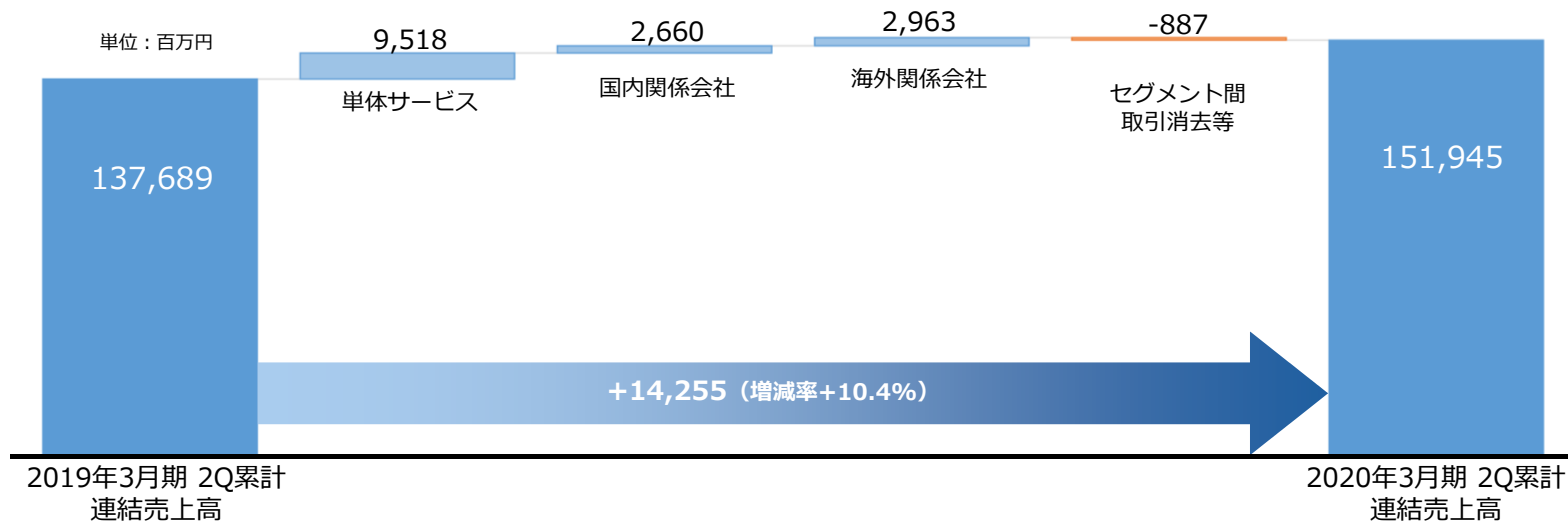
## 4. 連結売上高の増減分析

- 売上高 増加 : +14,255百万円 (+10.4%)

単体サービス 主要サービス (DEC・BPO) の受注増加で増収

国内関係会社 上場子会社の売上増加、新規連結の影響などで増収

海外関係会社 中国子会社 (オフショア開発) ・韓国子会社の売上増加で増収



# 5. 連結営業利益の増減分析

- 営業利益 増加 : +2,969百万円 (+185.6%)

### 単体サービス

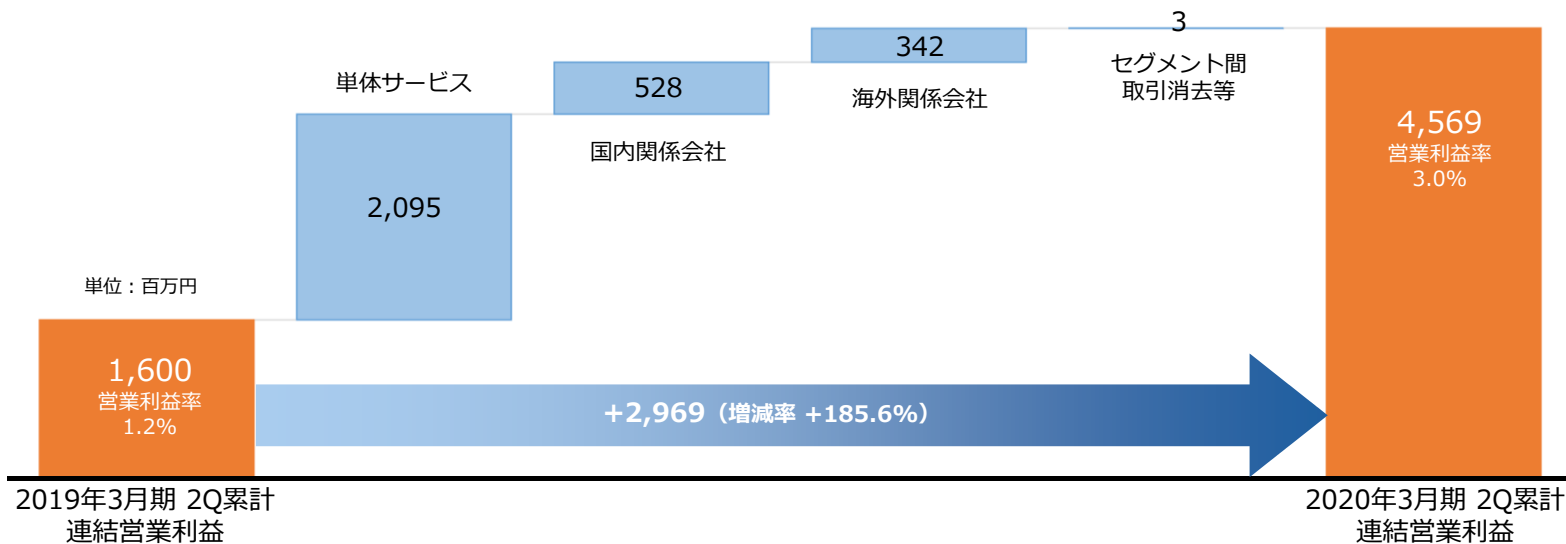
増収に加え、受注業務の収益性改善による売上総利益率の改善、コストコントロールによる販管費率の低下で増益

### 国内関係会社

上場子会社の利益増加、新規連結の影響などで増益

### 海外関係会社

中国子会社（オフショア開発）の収益性改善により増益。一部欧州子会社の事業再構築の影響も増益に寄与



## 6. 単体サービス 営業利益の増減分析

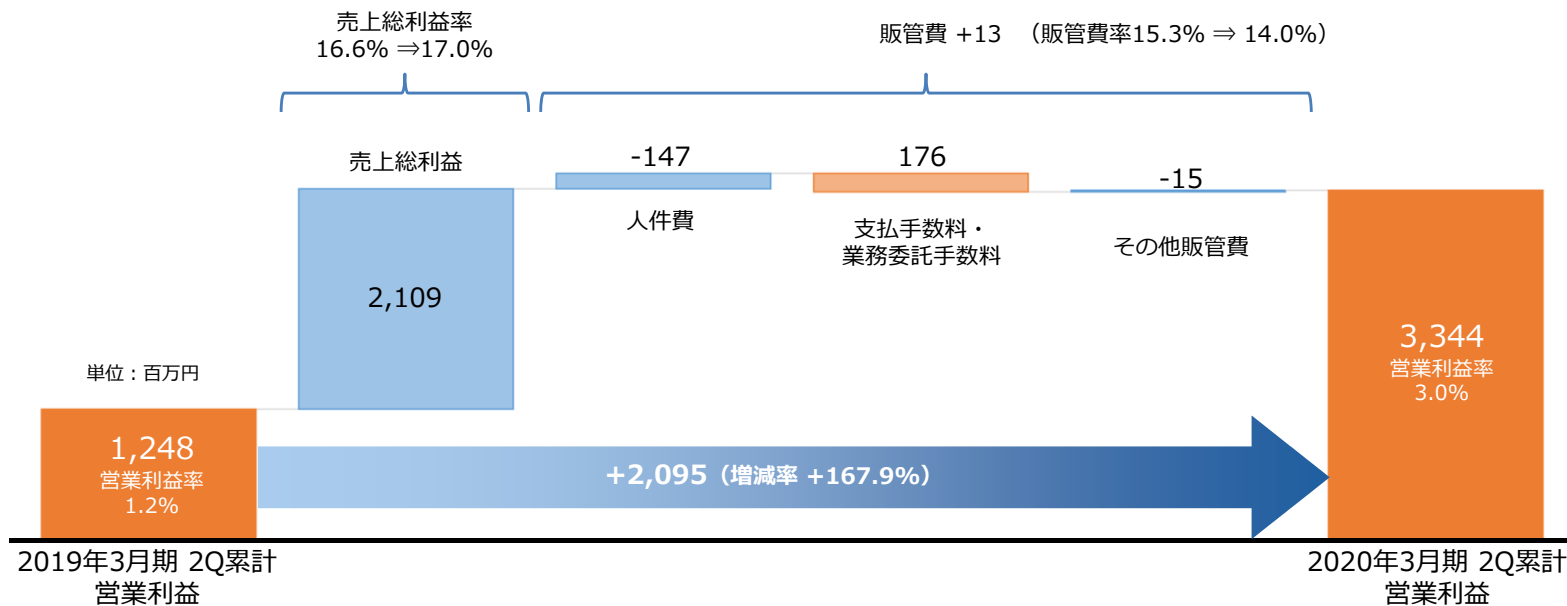
- 営業利益 増加 : +2,095百万円 (+167.9%)

売上総利益

増収に加え、既存案件の業務改善や高収益案件の獲得などにより収益性が改善し、売上総利益率は0.4ポイント上昇

販管費

売上増加に伴い13百万円増加したものの、コストコントロールにより販管費率は1.3ポイント低下





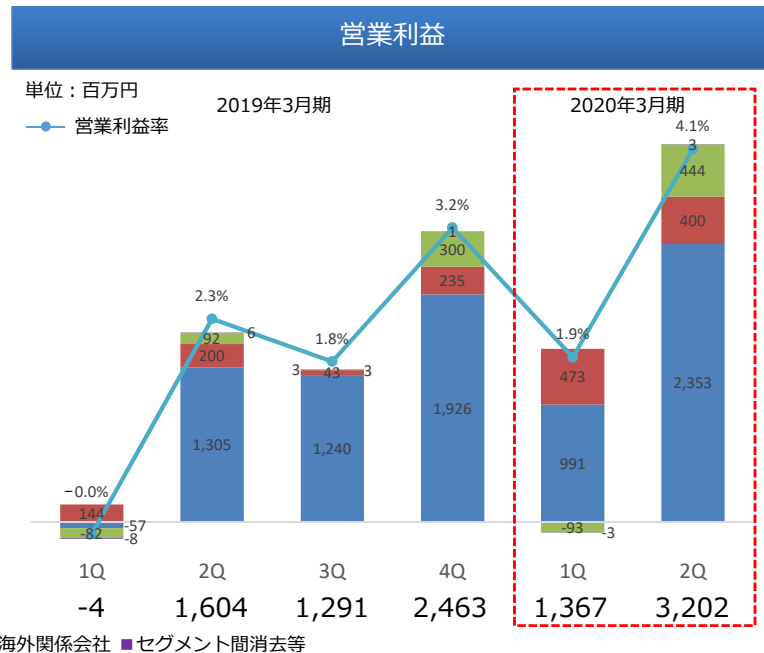
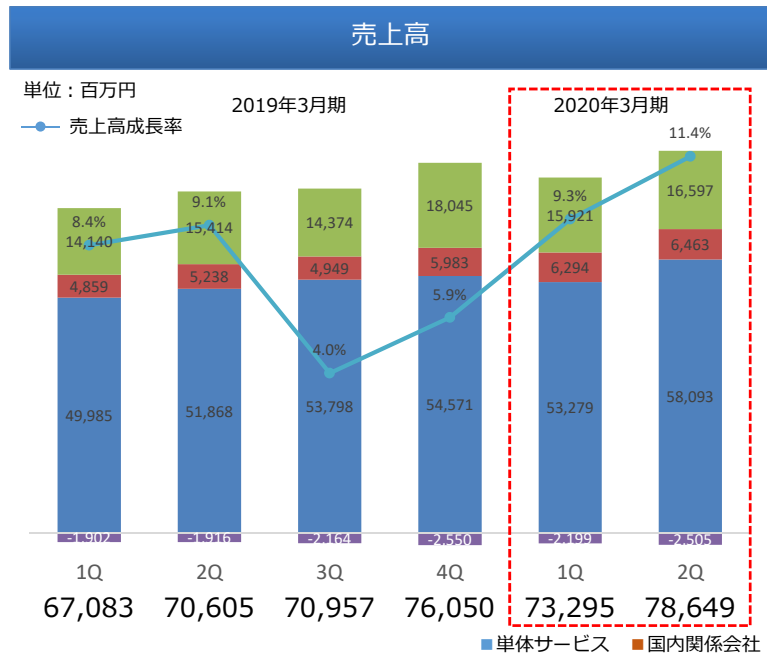
## 7. セグメント別 四半期業績 (2019年7-9月期)

- 売上高：全セグメントで売上が増加し、+8,043百万円、+11.4%の増収。単体サービスの成長率は加速
- 営業利益：全セグメントで収益性が改善し、+1,597百万円、+99.6%の増益

単位：百万円		2019年3月期 2Q		2020年3月期 2Q		増減	
			(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	単体サービス	51,868	73.5%	58,093	73.9%	6,224	12.0%
	国内関係会社	5,238	7.4%	6,463	8.2%	1,225	23.4%
	海外関係会社	15,414	21.8%	16,597	21.1%	1,183	7.7%
	セグメント間取引消去	-1,916	-2.7%	-2,505	-3.2%	-589	-30.8%
	<b>(合計)</b>	<b>70,605</b>	<b>100.0%</b>	<b>78,649</b>	<b>100.0%</b>	<b>8,043</b>	<b>11.4%</b>
セグメント 損益	単体サービス	1,305	81.4%	2,353	73.5%	1,047	80.2%
	(利益率)	2.5%		4.1%			
	国内関係会社	200	12.5%	400	12.5%	199	99.8%
	(利益率)	3.8%		6.2%			
	海外関係会社	92	5.7%	444	13.9%	352	383.6%
(利益率)	0.6%		2.7%				
セグメント間取引消去	6	0.4%	3	0.1%	-2	-40.2%	
<b>(合計)</b>	<b>1,604</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,202</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,597</b>	<b>99.6%</b>	

# 8. 連結四半期業績の推移

- 売上高：増収トレンド・高成長率を維持、前期に比べて成長率が上昇
- 営業利益：前期に比べて利益水準・利益率が改善傾向で推移



## 9. 親会社四半期純利益の増減分析

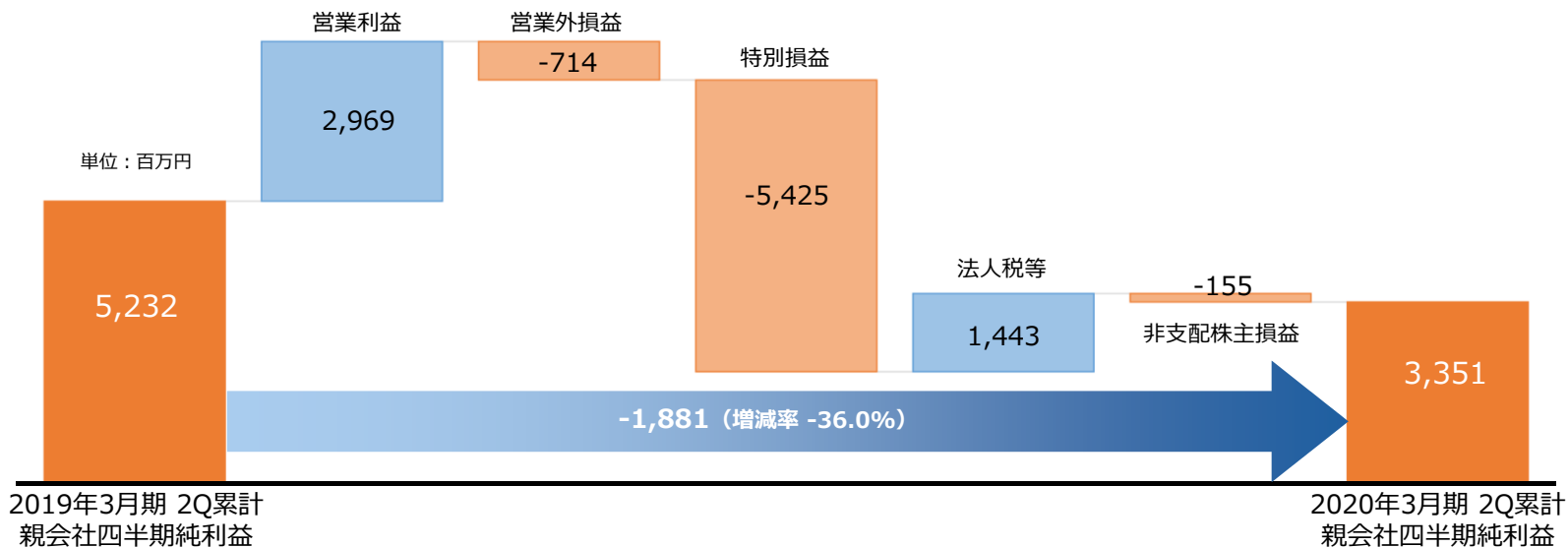
- 親会社四半期純利益 減少：-1,881百万円（-36.0%）

### 営業外損益

持分法投資損益は改善したものの、前年同期に計上したファンド運用益の減少などで714百万円減少

### 特別損益

前年同期に計上した関係会社株式売却益の反動などにより5,425百万円減少



# 10. 連結貸借対照表の概要

- 資産：借入金の返済等により「現預金」が減少、その他「受取手形及び売掛金」などが増加
- 負債：「一年内返済予定長期借入金」の返済や「未払消費税等」が減少
- 純資産：「利益剰余金」が増加

単位：百万円	2019年3月末	2019年9月末	増減額	
流動資産	89,835	86,978	-2,856	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現預金-5,632</li> <li>・ 受取手形及び売掛金+1,658</li> </ul>
固定資産	45,433	46,693	1,260	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ のれん+546</li> <li>・ 投資有価証券-933</li> <li>・ 関係会社株式-1,189</li> <li>・ 関係会社出資金+1,136</li> <li>・ 差入保証金+700</li> </ul>
資産合計	135,268	133,672	-1,596	
流動負債	48,121	46,357	-1,764	
固定負債	12,232	12,065	-166	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買掛金+1,834</li> <li>・ 一年内返済予定長期借入金-1,663</li> <li>・ 未払消費税等-1,252</li> </ul>
負債合計	60,353	58,422	-1,930	
純資産	74,915	75,249	334	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期繰延税金負債-267</li> </ul>
負債・純資産合計	135,268	133,672	-1,596	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利益剰余金+1,982</li> <li>・ 為替換算調整勘定-1,148</li> </ul>
現預金	36,032	30,400	-5,632	
有利子負債	13,668	11,608	-2,059	
Netキャッシュ*	22,364	18,791	-3,572	

\*Netキャッシュ=現預金-有利子負債

# 11. 連結キャッシュフロー計算書の概要

- 営業C/F：主に「税金等調整前四半期純利益」が減少、仕入債務の減少（仕入債務の増減額）や消費税等の納付（未払消費税等の増減額）、「その他」に含まれている未払費用が減少
- 投資C/F：主に「関係会社株式の売却による収入」が減少
- 財務C/F：主に「連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出」が減少、「配当金の支払額」が増加

単位：百万円	2019年3月期 2Q累計	2020年3月期 2Q累計	増減額
営業キャッシュフロー	2,270	1,185	-1,084
投資キャッシュフロー	5,490	-2,925	-8,416
財務キャッシュフロー	-3,729	-3,620	109
現金同等物残高	35,130	30,322	-4,807
フリーキャッシュフロー*	7,761	-1,739	-9,501

\*フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

# (ご参考) 保有上場銘柄

- 投資ポートフォリオはモニタリングを通じた定期的な見直しを強化

## トランスコスモス単体の保有上場株式

単位：百万円

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価 ※1
関係会社株式	応用技術株式会社	東証JQS	4356	4,029
	株式会社Jストリーム	東証マザーズ	4308	3,453
	eMnet Inc.	KOSDAQ	123570	1,571
	PFSweb Inc.	NASDAQ	PFSW	1,327
投資有価証券	株式会社メニコン	東証1部	7780	757
	株式会社ジーニー	東証マザーズ	6562	296
	Twilio	NYSE	TWLO	160
	日本航空株式会社	東証1部	9201	153
	ミズノ株式会社	東証1部	8022	28
	株式会社MTG	東証マザーズ	7806	19
	株式会社ジャックス	東証1部	8584	11
合計				11,808

## グループ会社保有の主要上場株式

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価 ※1
投資有価証券	北京騰信創新網絡營銷技術股份有限公司 (TensynPRC)	ChiNext	300392	4,097

※1 時価は2019年10月30日終値で計算。ただし、PFSweb、Twilioは10月29日終値で計算。

# 12. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点

## ● 設備投資額・減価償却費

単位：百万円	2019年3月期 2Q累計	2020年3月期 2Q累計	増減率
設備投資額	1,880	2,500	32.9%
減価償却費	1,560	1,664	6.7%

## ● 従業員数

	2019年3月末	2019年9月末	増減
連結従業員数	30,051	30,881	830
（臨時従業員数）	24,866	24,967	101
単体従業員数	14,106	14,957	851
（臨時従業員数）	21,407	21,114	-293

## ● サービス拠点

	2019年3月末	2019年9月末	増減
サービス拠点	171	167	-4
（国内サービス拠点）	62	63	1
（海外サービス拠点）	109	104	-5

\*サービス拠点は、自社サービス拠点のほか本部・支社・営業所・関係会社・パートナー等の拠点も含む

### ● 設備投資

主に単体サービスと海外関係会社でのセンター・事業所の新設・増床などで投資額が増加

### ● 減価償却

主に単体サービスと国内関係会社において過年度にセンター・事業所を新設・増強した影響などで増加

### ● 従業員

単体の新卒増加および臨時従業員の無期雇用化により従業員数が増加

### ● サービス拠点

国内は、MCMセンターさっぽろ創世スクエアを新設。海外は、ベトナムにホーチミン第三センターを新設。一方で、中国・欧州の一部関係会社・パートナー拠点が減少

## 東芝ヒューマンアセットサービス株式会社 (HAS) の 事業分割に伴う新設会社の株式譲渡に合意

- HASの人事・勤労業務を主体とする事業の分割に伴い、株式会社東芝が新たに設立した会社の株式81.0%を2019年11月1日付で取得することに合意
- HASは東芝の全額出資子会社で、東芝および東芝グループから人事勤労業務、海外人事支援業務、産業保健支援業務などを受託するシェアード会社
- 東芝グループに向け、人事・勤労業務を主体とするBPOサービスの専門性を強化し提供

社名	東芝ヒューマンアセットサービス株式会社
代表者	代表取締役社長 長命弘直
本社	神奈川県横浜市港北区鳥山町555
設立日	2001年4月
資本金	50百万円
株主構成	株式会社東芝 100%

## 東芝ピーエム株式会社の株式譲渡契約を締結

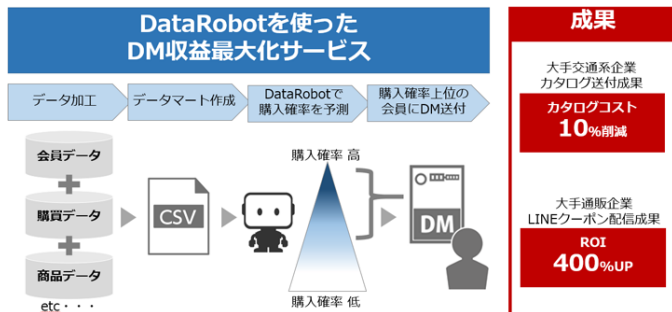
- 東芝デジタルソリューションズ株式会社と同社連結子会社の東芝ピーエム株式会社の株式80.5%を取得する株式譲渡契約を締結。11月1日付での譲渡完了を目指す。
- 東芝ピーエムは東芝グループや一般企業からドキュメントの電子化やデータ入力、アノテーションサービス、RPA関連サービス等を受託するBPOサービス会社
- 東芝グループへのサービス提供を拡大するとともに、東芝グループ以外の企業への展開も促進し、受託業務の更なる拡大を図っていく

社名	東芝ピーエム株式会社
代表者	代表取締役社長 末永司
本社	神奈川県横浜市港北区新横浜2-8-12
設立日	1985年7月
資本金	1,000万円
株主構成	東芝デジタルソリューションズ株式会社 100%



## 機械学習を自動化する「DataRobot」を使ったDM（ダイレクトメール）収益最大化サービス 提供開始

- トランスコスモスの通販事業やお客様企業向けサービスで培った成功ノウハウと最先端AIを活用し、高精度なDM送付リスト作成業務の内製化と収益最大化を支援
- 機械学習により顧客ごとの購買確率を予測し、購買確率が高い顧客にはDM送付、低い顧客はメール配信に切り替えるなどの施策により、売上拡大とコスト削減をはかることが可能
- 機械学習による高精度なDM送付リスト作成で、売上150%拡大・コスト10%削減



## サブスクリプションコマース運用サービス 提供開始

- サブスクリプションコマースに特化したクラウド型通販システム「サブスクストア」を活用し、注文受付から出荷までを支援
- 「サブスクストア」での受注データをもとに統合型ECプラットフォーム「eCommerce HUB」で多様な同梱物出荷にも柔軟に対応し、顧客のロイヤリティに応じたマーケティングを実現
- 健康食品・化粧品を中心に盛況なサブスクリプション市場に向けてサービスを展開



# 13. 2Q 活動トピックス

## ▶ 新サービスのリリース・既存サービスの拡充

- プレゼント選びが楽しく簡単になるアプリ『PitaPre（ピタプレ）』をリリース
- お客様企業の多様なニーズと課題を解決するLINE公式アカウント運用パッケージの提供を開始
- 運用型広告の配信においてアドベリフィケーション対策ツール「HYTRA DASHBOARD」を導入
- 視線分析で動画広告演出を最適化するメソッド「GAZE HACK（ゲイズハック）」をSOOTH株式会社と共同で開発、提供開始

## ▶ サービスの提供実績

- 福岡市教育委員会の「福岡市こどもLINE相談2019」（SNSカウンセリング）を支援開始
- 福島県郡山市の市政情報を配信するLINEの活用を支援開始
- 千葉県教育委員会の「そっと悩みを相談してね～SNS相談@ちば2019～」を支援開始
- 山口県宇部市の「市政情報」や「子育て情報」を配信するLINEの活用を支援開始

## ▶ アライアンス・サービス体制強化

- 台湾でインフルエンサーマーケティング世界No.1プラットフォーム「indaHash」と業務提携
- トランスコスモス・アナリティクスとソリッドインテリジェンスが資本業務提携
- amadanaと合併会社「株式会社GV」を設立
- トランスコスモス、神奈川県、ワークスモバイルジャパンの3者がかながわ消防の初動対応力の強化に関する協定を締結
- 「KARTE（カルテ）」を提供するブレイドと業務提携

# 13. 2Q 活動トピックス

## ▶ 受賞・認定・その他

- トランスコスモスコリア、顧客向けサービスの国際標準資格「COPC」取得者数が50人に
- 台湾でISO/IEC 27001の認証を取得
- トランスコスモスタイ、2019年第一四半期Lazadaタイの推奨パートナー（Preferred Partner）に
- トランスコスモスグループのMagic Pandaが中国アリババグループ主催のイベントにおいて「2019年度ゴールドTAOBAOパートナー」大賞を受賞
- 第41回びあフィルムフェスティバル」に協賛
- 「Oracle Excellence Awards 2019」にて受賞
- 中国最大のECモールTMALLから5つ星評価を継続獲得
- トランスコスモス、USEN、大妻女子大学の3者がコールセンターで働くオペレーターに対するBGMの効果研究を実施
- 長崎県立総合運動公園陸上競技場のネーミングライツを継続契約締結
- エベレストグループが発表したビジネスプロセスサービスプロバイダランキング Everest Group BPS Top 50™において Top 3 APAC Providersに選出



## **IRに関するお問い合わせ**

トランスコスモス株式会社 管理本部 IR室

Tel. 03-4363-0124

E-Mail. [ir\\_info@trans-cosmos.co.jp](mailto:ir_info@trans-cosmos.co.jp)

- 本資料に含まれる将来の予測に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って当社として、その確実性を保証するものではありません。
- 本資料では、金額は百万円未満切捨、%は小数点以下第2位を四捨五入で表記しています。